

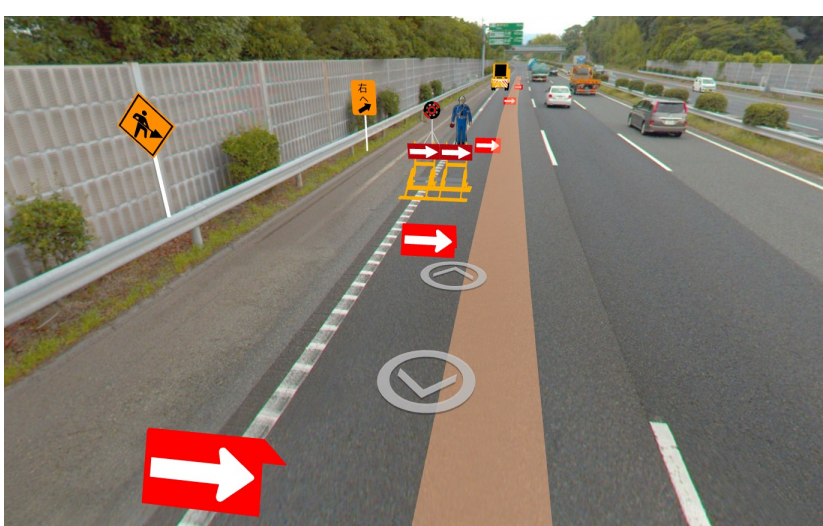
全周囲映像システム（3D ビデオ管理システム）

全周囲映像システムは360°の映像を使用した「位置情報提供プラットフォーム」です。

- ✓ C V 演算技術で3次元位置情報を保有したゆがみの無い360°映像を提供
- ✓ 映像ならではのW E B 配信とスムーズな情報共有を実現
- ✓ 映像上に情報タグ（C V タグ）を登録し、様々な情報を効果的に管理
- ✓ G I S や既存システムと位置情報で連携させ、情報の整合性を確保
- ✓ 地上映像と地中データの一元管理

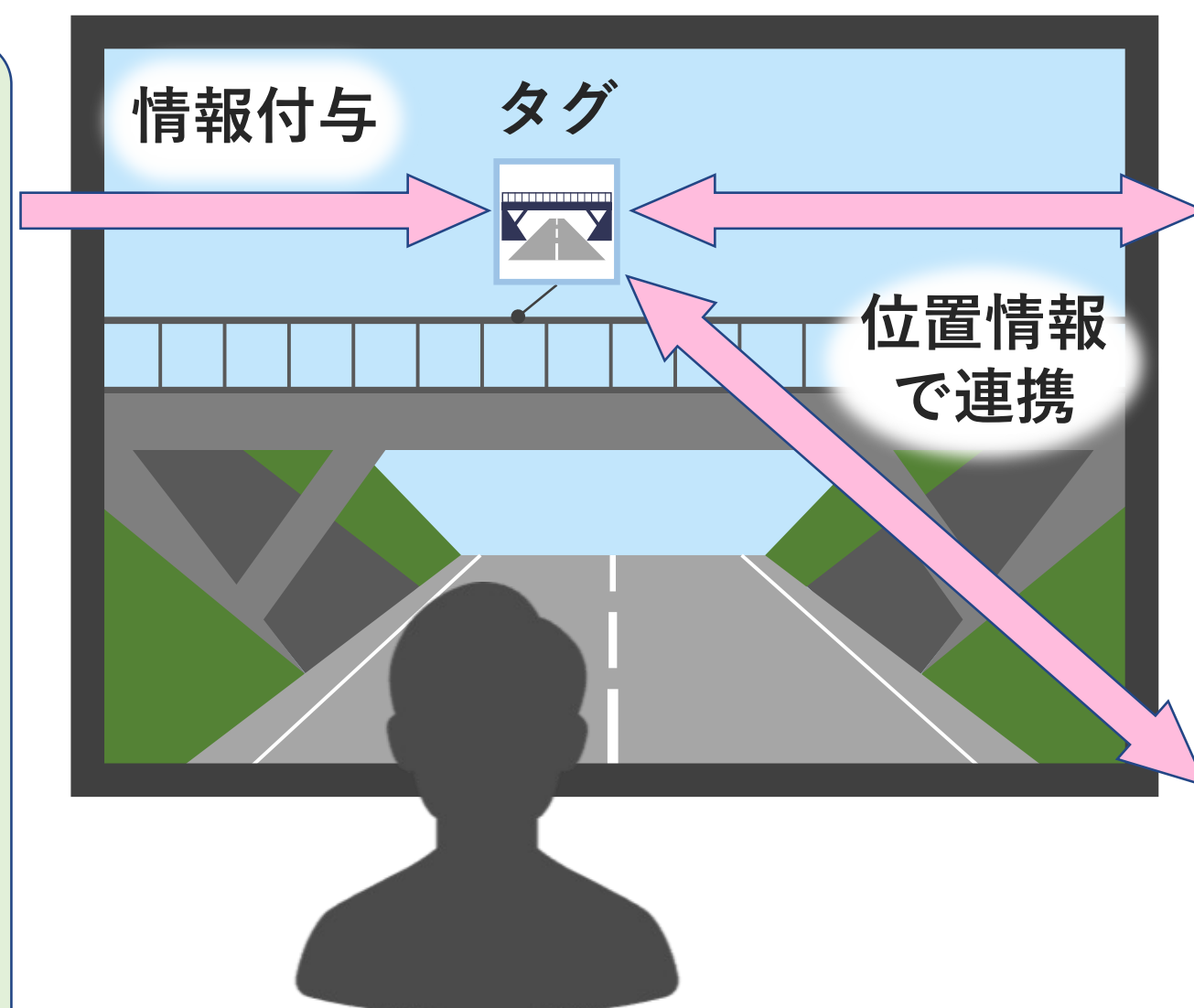
主な機能

- ・ **タグ登録機能**
映像内に情報タグ（C V タグ）が登録できます。
- ・ **計測機能** ※相対誤差10m以内±5cm
映像上で長さや面積など計測ができます。
- ・ **3Dモデル配置機能**
映像内に3Dモデルが配置できます。



C V タグを活用した整備効果

多種多様な情報を付与

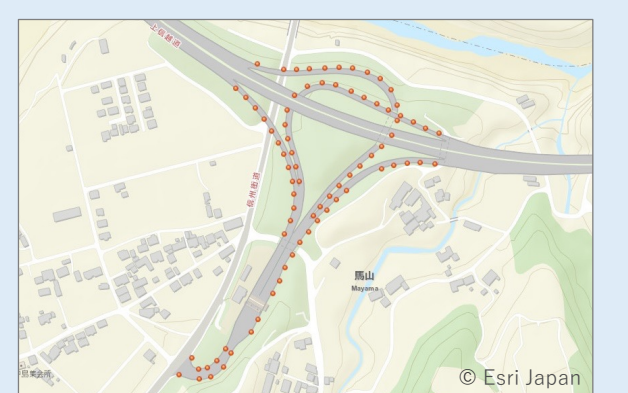


- ・ 利用者が実際の情報を視覚的に確認
- ・ 実在する目的物に関する情報を一元管理
- ・ 現地と各種システムの不整合を解消

既存システム

- 図面管理システム
- 資産管理システム
- 点検管理システム
- 写真管理システム

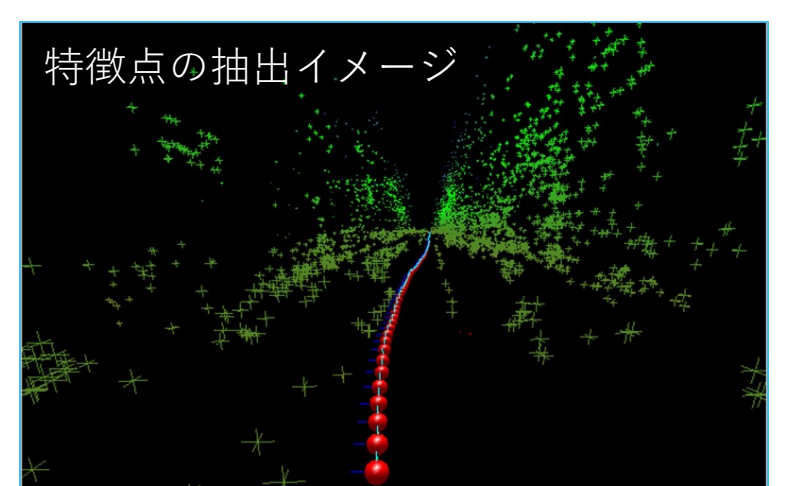
G I S システム



C V 演算技術とは

～カメラ映像のみを使用した位置特定技術～

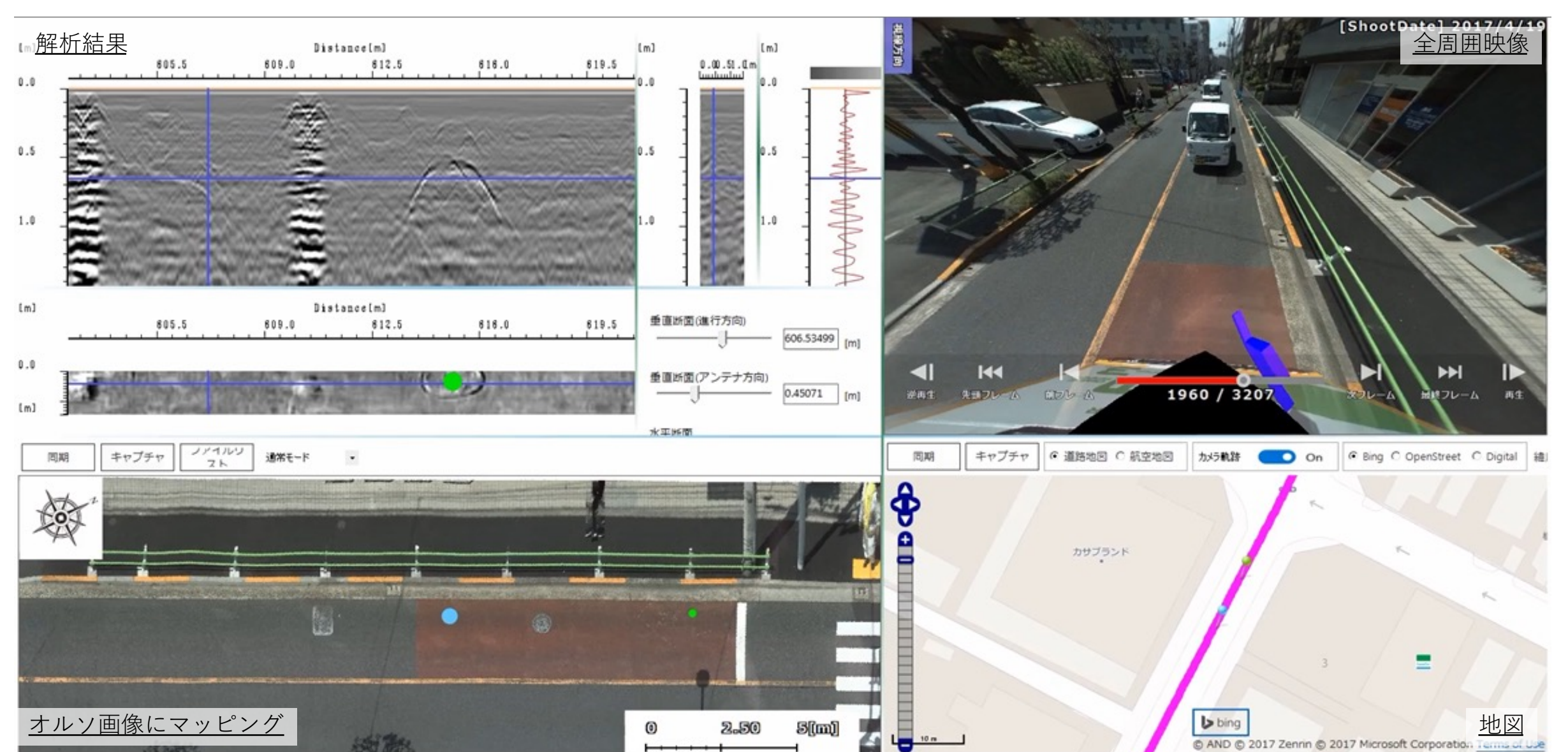
1秒あたり16フレームの速さで撮影された映像の各フレームから、約300の特徴点を自動的に抽出し、それらの特徴点を利用して各フレームごとにカメラの動き・姿勢を計算します。この技術により、2次元の映像から3次元位置情報を保有した映像を生成します。



拡張機能

地上・地中の状況を一元管理

全周囲映像システム（3Dビデオ管理システム）と連動した「GMS 3」では、路面のオルソ画像と映像により視覚的に探査結果を把握することができます。



GMS 3 ビューア